

地域の読書ボランティア等への講師派遣事業

「赤木かん子講演会」について

～真庭市図書館ボランティア～

1 事業のねらい

- ・ 勉強会等は県内外でいろいろ催されているがなかなか遠出ができてにくいボランティアの方々にも今回は参加いただき、スキルアップと共にその後のボランティア活動に活かしてもらう。
- ・ 真庭市で活動するボランティアの他に保育園・幼稚園・小学校・中学校職員，他の地域の読書ボランティア，子育て中の保護者，ボランティア希望の方・興味のある方など参加の間口を広げることにより，講演会後の学校や他地域のボランティアとの連携，新規ボランティアの発掘などを促す。

2 日程・会場・参加者

- ・ 実行委員会
6月17日（月），8月24日（土），10月5日（土），11月2日（土）
12月7日（土）
- ・ 講演会
11月28日（木） 会場（エスパスセンター1階会議研修室）
参加者 ボランティア52名，学校司書3名，保護者2名，子ども1名

3 事前準備等具体的な事業の流れ

6月：事前にボランティア内で希望を取り，講師の候補をあげた。実現が難しい講師や以前受講したことがある講師がおり，自然に数名に絞られた。その中でこちらの希望の日程で快諾いただいた赤木かん子先生に依頼した。講演内容は幅広く「参加者が聞きたい事をポスターに全部書いておきな。皆話してあげるよ」と温かい言葉をいただき，読みきかせボランティア向けに本の選び方・読みきかせのポイントについてお話いただくこととなった。

8月：事前に担当ボランティアが広告ポスターのデザインをし，持ち寄って推敲した。せっかく著名な先生に来ていただけることとなったので，

ボランティアはもちろん興味のあるたくさんの皆さんに参加していただこうと決定した。借りた会場は100名収容可能だったので，夢は大きく定員100名！とした。

10月：募集開始は10月1日からだったが，赤木かん子先生が自身のホームページで真庭行きを発表してくれ，閲覧した学校司書の方から「真庭と書いてありました…ということは図書館で行うのですか。ぜひ参加したい。今すぐ予約します！」と事前に申込があった。先生の人気に驚くとともに，必ず成功させようと関係者の士気が上がった。

11月：会場設営の準備・当日役割分担・アンケート作成等を行った。



準備会の様子

(別様式)

4 講演会の様子

- ・ まず、開口一番の「自分の読みたい本を読んではいけません。子どもの喜ぶ本を読んでください」に皆さんハッとされ、その後は先生の滑らかな口調にぐいぐいと引き込まれているのが見て取れた。
- ・ リアル本（自然科学本）の活用の仕方を、ご自身の体験談・実際の本の朗読等で詳しく説明いただいた。物語を好んで読むボランティアが多かったようで講演会后「リアル本にチャレンジしたい」という声をたくさんいただいた。
- ・ 主に真庭市で活動中のボランティアの方にたくさん参加いただくことができ、ねらいが達成できたと感じた。
- ・ 参加者の方は皆熱心に聞き入り、途中退場の方は本当に時間が無い方だけでわずかだった。また、講演会終了後も先生が「時間が許すだけここにありますから前へ来て質問等をどうぞ」と言ってくださり希望者は先生に直接話日頃の疑問を問う事ができた。



講演会の様子

6 成果と今後の課題

- ・ アンケートをとることにより、参加者の方に本当に喜んでいただいていることがわかりやって良かったと感じた。また、今後の希望もきくことができたので次回の活動に向けて指針が持てた。
- ・ ボランティア自身が企画・運営することにより、本当に学びたいこと・聞きたい話の希望を叶えることができ良かった。長年ボランティアを続けている者もまた気持ちを新たにしていたし、早速「次回の講演会の希望は…」と夢をふくらませていた。
- ・ 人気講師で、かなり事前にアポをとらねば講演がかなわない方もいるが、現状では年度が始まらないと予算等の都合上講演会に向けて動けないためお願いすることができない。なんとか良い方法は無いだろうか。
- ・ 子育て中の方に備えて託児も考えたが、今回は実現しなかった。もし託児も行い広報しておけば参加も増えたのかもしれないと思った。子育て中の方からは「とても参考になった。先生のおっしゃる年齢別の発達の様子はうちの子とまったく同じで驚いた」と言ってくださった。
- ・ 早速受講者からのボランティア参加申込があり、2月から参加してもらえることとなった。これからもボランティア同士で協力しながら活動の場を広げ、地域の子どもたちの成長に微力ではあるが貢献していきたいと心新たにしたい。



反省会の様子

つなげて行きたい。